

● 埼玉教育 第1号 令和2年5月 目 次 ●

◆目次

巻頭言

- 令和2年度「埼玉教育」は新たなステージへ 県立総合教育センター 所長 石川 薫 2
○「偉業を達成できた背景に何があったのか？」 履正社医療スポーツ専門学校 スポーツ外国語学科 学科長 佐藤 秀典 3

県教委 施策・事業の紹介

- 埼玉の歴史と文化、文化遺産にふれる ～県立歴史と民俗の博物館 令和2年度事業について～ 県立歴史と民俗の博物館 企画担当 5

総合教育センターの取組

- 教育実践、調査研究を支える資料室 県立総合教育センター 教育資料担当 6
○令和2年度調査研究事業計画概要 県立総合教育センター 企画調整担当 7
○調査研究中間報告書「主体的・対話的で深い学び」を実現する
校内組織マネジメントに係る調査研究〈中間報告〉 県立総合教育センター 企画調整担当 8
○官民連携プラットフォーム「次世代の学び創造プロジェクト」の創設について 県立総合教育センター生涯学習推進担当 11

教育法視・情報

- 「公立の義務教育諸学校等の教育職員の給与等に関する特別措置法の一部を改正する法律」と
県の学校における働き方改革の推進について 前 県立学校人事課 副課長兼主任管理主事 角坂 清博 12

特集:確かな学力と変化の激しい社会を生き抜く力の育成

- みな教育の改革～心にふるさとと夢を宿し、生きる力を培う教育と文化の町をめざす皆野教育～
皆野町教育委員会教育長 豊田 尚正
前 皆野町教育委員会指導主事兼主席主幹 新井 洋介 14
○皆野町立皆野小学校の学力向上を目指した学習指導の研究
～読解力・思考力・表現力の育成(国語科を中心として)～ 皆野町立皆野小学校 校長 門倉 稔
皆野町立皆野小学校 教務主任 菅原 昌代 16
○学力向上プロジェクト教員と連携した算数授業の実践
～児童一人一人の学力や教職員の授業力向上に向けて～ 蕨市立塚越小学校 教諭 渡部 景子 18
○「学力の向上と学習習慣の確立」～主体的な学びを目指して、深い見方・考え方を育成する～
吉川市立東中学校 教務主任 山中 健一 22

指導力向上のための実践論文

- 真の文武両道を目指して 県立所沢北高等学校 教諭 柳澤 裕司 26
○高等部不登校生徒への取組
～学校の組織体制、SSW等の外部機関との連携の在り方～ 県立越谷西特別支援学校 教諭 西澤 香 28
○働く意欲を培う「作業学習」の授業実践 県立草加かがやき特別支援学校 教諭 木村 達 30
○「地域とともにある学校」を目指して ―コミュニティ・スクールを基盤とした小中一貫の推進―
久喜市太東学園コミュニティ・スクール委員会 委員長 飯島 祐紀夫 32

ICTが拓く教育の未来

- 教育にICTは必要なのか? 県立狭山工業高等学校 主幹教諭 高井 潤 34
○SDGsとこれからの教育
○埼玉の教育で未来の子供を育てる(1) 日本ESD学会 副会長 手島 利夫 36

令和元年度長期研修報告

- 運動の楽しさを味わわせ、積極的に運動に取り組む児童を育成する体育授業の研究
～「わかる」と「できる」をつなげ学びを深めるボール運動ゴール型の指導方法について～
前 三郷市立幸房小学校 教諭 赤城 雅史 38

若手教職員からのメッセージ

- チームの一員として 秩父市立影森中学校 教諭 平間 颯太 41

ベテラン教職員からのメッセージ

- いつも心に太陽を、くちびるに歌を
～小学校音楽科担当教員として努めてきたこと～ 上尾市立大石小学校 教諭 今泉 光恵 42

教育長からのメッセージ

- 小1から中3、全員原級留置?? 小川町教育委員会 教育長 小林 和夫 43

学校紹介

- 地球環境のよき理解者を育む学び舎として
～6つの専門学科の学びをつなぎ、新たな時代の地球環境について探究していく～ 県立いずみ高等学校 校長 栗藤 義明 44

子供たちに伝えたい埼玉の偉人

- 埼玉が誇る偉人 本多静六博士
～努力で切り拓いた近代林学の黎明～ 久喜市教育委員会 文化財保護課 主事兼学芸員 竹内 俊吾 45

社会科見学施設紹介

- 社会科見学は埼玉古墳群、県立さきたま史跡の博物館へ
前 県立さきたま史跡の博物館 担当課長 大谷 直紀 46

コラム

- 人生はいつもニコニコ汗流す 埼玉純真短期大学 准教授 原口 政明 48

◇表紙	「3年生 算数 倍の学習」	蕨市立塚越小学校	教諭 渡部 景子
◇裏表紙	「金魚とうたかた」	県立伊奈学園総合高等学校	2年 饒田 りさ
	「街路」	県立所沢北高等学校	2年 堀越 菜菜
◇裏表紙見返し	県内随一の教育専門図書館	教育資料室 県立総合教育センター	教育資料担当